



こおりまち

議会だより

VOL.

141夏号

令和7年
7月16日発行



桑折町議会ホームページへ

主な内容

6月定例会

11名の議員による一般質問という名の政策提案

第1回議会報告・意見交換会まとめ

議会モニター抱負

2

8

22

26



町制施行70周年記念行事

半田山山開き 群生するシラネアオイが満開、開会式

令和7年4月29日(火)「昭和の日」約600人の参加、さらなる交流・関係人口創出へ



6月定例会

●会期:6月11日(水)
～6月17日(火)(7日間)

提出議案 22件 審議採決

条例改正 8 件、その他 2 件、補正予算 3 件、契約締結 1 件、
報告 3 件、同意 1 件、請願 2 件、陳情 2 件

条例改正

◆議案第31号

桑折町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正

内容

町長、副町長の給与を時限的に減給する改正（東日本大震災に係る災害義援金の未配分事業に關し適正を欠く事務執行となつた事を重く受けとめ1ヶ月間の町長10%、副町長5%減給とする）

◆議案第32号

町職員の給与条例の一部改正

内容

新型インフルエンザ等対策特別措置法の一部を改正する。

◆議案第33号

税条例の一部改正

内容

令和7年度税制改正による地方税法等の一部改正。

◆議案第34号

東日本大震災による被災者に対する町民税、固定資産税及び国民健康保険税の減免に関する条例の一部改正

内容

東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う避難指示等対象地域における被保険者等の減免措置等に對する国の財政支援が延長されるための改正。

◆議案第35号

国民健康保険税条例の一部改正

内容

前年の所得に係る地方税法に規定する総所得金額が確定したことに伴う令和7年度税の按分率の改定に加え、施行令の一部改正に伴う賦課限度額の改定。

◆議案第36号

水道事業の業務に従事する職員の給与等の種類及び基準を定める条例の一部改正

内容

地方公務員の育児休業に関する法律の一部を改正する法律が令和7年10月1日に施行される事に伴う改正。



町長による提案理由説明

財産の取得

◆議案第41号

学校給食センター厨房処理システム機器

1 買入物件及び数量

厨芥処理システム機器一式

2 契約の相手方

住所 福島県福島市郷野
目字宝来町17番地の3
氏名 株式会社
中西製作所
福島営業所
所長 赤津 克志

3 契約の方法

指名競争入札

4 買入金額

10,340,000円
（うち取引に係る消費税及び地方消費税額 金940,000円）

5 入札参加業者

5 社

6 落札率

79.9%



補正予算

討論はP6・7へ

◆議案第39号

一般会計（第1号）

既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ1億9,489万円を追加し、予算総額を65億3,439万円とするもの。

◆議案第40号

国民健康保険特別会計（事業勘定）（第1号）

既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ828万円を追加し、予算総額を13億747万円とするもの。

◆議案第42号

一般会計（第2号）

既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ573万円を追加し総額それぞれ65億4,012万円とする。

主な歳入

項目	補正額(万円)	摘要
特別交付税	436	商業分野における地域おこし協力隊新規募集経費
地方創生臨時交付金	3,110	物価高騰対応重点支援。低所得世帯支援枠及び不足額給付分の給付
公共施設維持管理基金繰入金	9,850	町立釀芳保育所解体工事、釀芳小学校工キスパンションジョイント等補修工事
前年度繰越金	5,158	一般財源として充当

主な歳出

項目	補正額(万円)	摘要
定額減税補足給付事業	3,110	令和6年度実施定額減税において同年度分所得税及び定額減税不足給付
公園内施設管理	949	半田山管理センター屋根修繕・バンガロー解体設計業務委託費
商業振興対策費	436	地域おこし協力隊募集事業費
子育て支援事業費	13,800	町立保育所解体工事費
小学校管理総務費	850	釀芳小学校工キスパンションジョイント及び周辺外壁の雨漏補修工事

歳入(万円)	
国民健康保険税	△3,800
繰越金	4,628

(△は減)

歳出(万円)	
医療給付分	585
後期高齢者支援金等分	65
介護納付金分	15
償還金及び償還付加算金	163

主な歳入

項目	補正額(万円)	摘要
地方創生臨時交付金	573	物価高騰対応重点支援（福祉施設・民間放課後児童クラブ及び認定こども園）

主な歳出

項目	補正額(万円)	摘要
社会福祉総務一般費	501	福祉施設等エネルギー価格高騰対策支援
子育て支援事業費	72	民間放課後児童クラブ・認定こども園に対するエネルギー価格高騰対策支援



議案第39号 採決

町が出資している法人の経営状況報告

一般財団法人桑折町振興公社

《事業の内容》

目的 地域づくり、地場産業の振興に関する調査研究並びに開発を推進し、桑折町の振興に寄与する。

《重点事業》

令和6年度は物価高騰等の影響を大きく受けたが、以下の視点を進化（深化）させ、桑折町ならではの地域活性化の推進に向け各種事業の効果的な実施を図った。

☆視点Ⅰ 6次化商品の認知向上による地域振興への寄与と拡大

☆視点Ⅱ 農業振興活動拠点施設の効果的な運営管理の実現

☆視点Ⅲ 地域農業の振興・発展の実現

《主な事業》

●6次化産品開発事業
〃献上桃の郷〃桑折町の地域ブランドの強化及び公社経営基盤の強化に向けて、販路開拓・拡大の取り

組を積極的に展開した。「王林発祥の地」桑折町産王林と名水「金剛水」を使用した新商品「幸福の王林ゼリー」を9月から販売開始した。

・仙台圏・首都圏等における販路開拓、拡大
・町内、町外物販イベント等への参加
・「至福のグミ」に続き「至福の桃キャンディー」商標使用契約締結

●農業振興活動拠点施設管理運営事業

「レガールこおり」の管理運営については、施設のコンセプトである機能・役割・交流拠点として〃集う〃学ぶ〃（体験・発見）の具現化を目指しマルシェ、ピザづくり体験等を実施した。

・伊達崎マルシェの開催
4月から11月まで8回開催した。
・交流会等の開催
伊達崎小学校5年生とともに町特産品をPRする

方法を考えワークシート入り6次化商品の限定販売を実施した。

・その他集客イベント

・桃の収穫体験事業を実施し集客促進をはかり「献上桃の郷」の高品質桃のPRや価値向上に努めた。
・半田銀山新そば祭りの開催
半田銀山そばの会とタイアップした新そば祭りを開催し、870名の来場者があった。地域飲食店等の協力のもと桑折町の食の魅力を発信し地域振興に努めた。

令和6年度「ピザスタ」売上・利用者状況

(令和6年4月～令和7年3月)

項目	令和6年度	前年度	比較増減	対前年比
来店者	9,765人	12,406人	△2,641人	78.7%
飲食売上	23,428,723円	29,546,232円	△6,117,509円	79.3%
材料費	7,457,221円	8,383,484円	△926,263円	89.0%
	31.82%	28.37%	3.45%	112.2%
人件費	6,917,565円	11,660,628円	△4,743,063円	59.3%
	29.52%	39.46%	△9.94%	74.8%

土地開発公社桑折事務所

令和6年度は、公共用地等の取得事業や処分事業等は実施していない。なお、平成19年度において、工業団地売却により損失が生じたが、町からの補償により借入金の返済を実施している。

損益計算書 (単位：円)

項目		令和6年度	令和5年度
1	事業収益 公有地取得事業収入	0	0
2	事業原価 公有地取得事業原価	0	0
事業総利益		0	0
3	販売費及び一般管理費	7,716	17,312
事業損失			
4	事業外収益 受取利息	3,845	92
5	事業外費用 支払利息	0	0
経常損失		3,871	17,220
6	特別損失 その他特別損失	0	21,327
当期純損失		3,871	38,547
当期損失		3,871	38,547

同意

◆桑折町固定資産評価員の選任住所氏名

桑折町大字南半田松野明彦

臨時会

第2回(令和7年4月30日)

◆専決処分
桑折町総合計画「献上桃の郷こおり未来躍動プラン

の郷こおり未来躍動プラン

ン」中期基本計画等印刷製本外3事業を3月28日に専決処分した。(P5繰越明許費計算書参)

◆規約改正

福島県市町村総合事務組合構成団体の減少及び規約変更について構成市町村議会の議決を求めるもの

◆財産の取得

避難所資機材購入契約の締結にあたり議会の議決を求めるもの

請願・陳情 審査結果



意見書はこちらから

請願者	紹介議員	付託委員会	審査結果
請願第1号 国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出についての請願	伊達市梁川町柳田字町ノ内75-1 新日本婦人の会 伊達支部 渡辺サツ子	川村 滋道 齋藤 松夫	総務文教 常任委員会
請願第2号 国に対し「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」提出についての請願	伊達市梁川町柳田字町ノ内75-1 新日本婦人の会 伊達支部 渡辺サツ子	川村 滋道 齋藤 松夫	総務文教 常任委員会
請願第3号 「インボイス制度廃止を求める意見書の提出についての請願」	福島市五月町2-5 消費税廃止各界 連絡会 代表 服部 雅	川村 滋道 齋藤 松夫	総務文教 常任委員会
請願第4号 「消費税5%への減税を求める意見書の提出についての請願」	福島市五月町2-5 消費税廃止各界 連絡会 代表 服部 雅	川村 滋道 齋藤 松夫	総務文教 常任委員会

陳情者	付託委員会	審査結果
陳情第2号 地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情について	伊達市保原町字舟橋180番地 日本労働組合総連合会 福島県連合会 伊達地区連合会 議長 高橋 誠一	総務文教 常任委員会
陳情第3号 「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める陳情書	福島市上浜町10-38 福島県教職員組合 中央執行委員長 瀬戸 禎子	総務文教 常任委員会

令和6年度 一般会計繰越明許費繰越計算書

(令和7年5月31日現在)

款	項	事業名	金額	翌年度繰越額	一般財源	完成予定日
02 総務費	01 総務管理費	桑折町総合計画「献上桃の郷こおり未来躍動プラン」中期基本計画等印刷製本 町民研修センター「うぶかの郷」エネルギー等価格高騰対策支援事業	1,282,000円 800,000円	1,282,000円 0円	582,000円 0円	令和7年4月15日 令和7年3月26日
03 民生費	01 社会福祉費	第二次桑折町地域福祉計画策定業務	3,465,000円	3,465,000円	365,000円	令和7年4月18日
03 民生費	01 社会福祉費	住民税非課税世帯等への臨時特別給付事業	34,477,000円	2,446,000円	0円	令和7年7月31日
	02 児童福祉費	低所得者の子育て世帯への加算給付事業	2,279,000円	869,000円	0円	令和7年7月31日
04 衛生費	01 保健衛生費	桑折町健康増進計画策定業務 第3期桑折町子ども・子育て支援事業計画策定支援業務 保健福祉センターやすらぎ園減災化工事 やすらぎ園消火ポンプ呼水層不具合修繕 やすらぎ園中央監視装置部品交換	3,740,000円 3,520,000円 31,603,000円 924,000円 650,000円	3,740,000円 3,520,000円 20,523,000円 924,000円 650,000円	1,040,000円 20,000円 23,000円 462,000円 325,000円	令和7年4月18日 令和7年4月18日 令和7年6月30日 令和7年5月30日 令和7年4月30日
05 農 林 水産費	01 農業費	桑折町農業用資材等高騰緊急支援事業	4,403,000円	4,403,000円	0円	令和7年10月31日
	02 林業費	ふくしま森林再生事業 半田山管理センター屋根修繕設計業務委託	11,140,000円 500,000円	11,140,000円 500,000円	2,604,000円 500,000円	令和7年8月29日 令和7年5月31日
06 商工費	01 商工費	こおりプレミアム商品券（第6弾）発行事業 公共交通事業者等支援金給付事業	22,807,000円 1,550,000円	22,807,000円 1,550,000円	0円 0円	令和8年1月31日 令和7年4月15日
07 土木費	02 道路橋梁費	町道101号線拡幅工事に伴う土地購入費	2,868,000円	2,868,000円	694,000円	令和7年9月30日
	04 都市計画費	桑折町歴史観光交流センター基本設計業務	5,000,000円	5,000,000円	5,000,000円	令和7年9月30日
08 消防費	01 消防費	避難所生活環境改善事業	24,891,000円	24,891,000円	2,489,000円	令和7年9月25日
09 教育費	01 教育総務費	桑折町立釧芳保育所解体工事実施設計業務	5,500,000円	5,500,000円	5,500,000円	令和7年5月27日
	02 小学校費	釧芳小学校エキスパンションジョイント等補修工事設計業務委託	500,000円	500,000円	500,000円	令和7年5月16日
	06 保健体育費	桑折町屋内温水プール・多目的スタジオ「イコーゼ!」温水プールボイラー修繕	1,540,000円	0円	0円	令和7年3月31日
合 計			163,439,000円	116,578,000円	20,104,000円	

討 論 一 覧 表

賛 成		議案・ 請願		反 対	
男女平等が世界より遅れているのは日本古来の歴史、家父長的な考え方が根強く残るからだ。平成9年に町女団連が設立され、男女共同参画社会を目指し活動をしているが条例制定には至らない。本町の各種団体、委員会等の女性参画はまだまだ。この実態から桑折町議会の総意として請願に意見書を出すことは時期尚早と考える。	川名 静子議員	請願 第1号	齋藤 松夫議員	趣旨採択は本請願の全面否定ではないことを承知する。しかし本請願の願意は、国への意見書提出にあり反対の態度をとる。選択議定書の批准は女性への差別事業を国連の委員会への通報及び同委員会による調査を可能とする。これによって女性への差別撤廃はおおきく前進するものとする。議員各位の本請願への賛同を願う。	
反対討論にある様々な問題も制度に賛成の者、反対の者それぞれに課題等がある。委員会の中でも多くの問題点が指摘された。導入による様々な影響、多様な「家族のカタチ」等今後家族を考える上で避けられないテーマと思うが、憲法24条を読み込むことも必要と考える。よって町議会の意思としては大変難しいし時期尚早だ。	川名 静子議員	請願 第2号	齋藤 松夫議員	趣旨採択は本請願の全面否定ではないことを承知する。しかし本請願の願意は、国への意見書提出にあり反対の態度をとる。 国連の女性差別撤廃委員会は民法等の差別的規定の見直しを勧告している。法制審議会も選択的夫婦別姓導入を含む民法改正を答申している。さらに経団連も本制度の導入を提言した。議員各位の本請願への賛同を願う。	
総務文教常任委員会の審査において、通称使用の運用の拡大、さらには家族内特に子どもの姓の選択のあり方に混乱が生じると判断し不採択とした。しかし、委員会での多数決の結果、趣旨採択すべきものと決したため、これに従い賛成することとした。	半沢 正保議員				
家を守るということは昔からの日本の考え方である。名字が同じことで家族の一体感や絆を感じることができる大切なことと思うため、賛成する。	羽根田ひとみ議員				
この改正で保険料1,300円のUPになった要因は、団塊世代が後期高齢者医療制度に移った事で被保険者数の減少、更には一人当たりの医療費増加、国保事業費納付金として約1千万円県へ納付する等だ。しかし低所得者への影響を最少に抑えるため繰越金3,800万円を入れた。国保制度の維持には増額もやむを得ないと考え賛成する。	川名 静子議員	第3 5号 国保 条例	川村 滋道議員	国保料の値上げが続き、2024年度も全国で39%に当たる677自治体で値上げとなった。物価高騰で苦しむ家計に大きな打撃になるだけでなく、保険料が払えず医療にアクセスできない患者を増やしている。本町は「前年度繰越金3,800万円を繰り入れることで均等割り、平等割の最低限の引き上げにとどめることにした」との努力は評価しつつも、値上がりにはなっている為反対する。	
どの補正予算も大変重要な案件である。特に、釧路小学校のエキスパンションジョイント補修工事は耐震のため重要な工事である。校舎の安全性を高め、子どもたちの命を守る環境となるよう、早急に工事を進めていただきたいと考え本補正予算案に賛成する。	半沢 正保議員	第3 9号 一般 補正	鈴木 隆志議員	釧路保育所を廃止してまで、なぜ、町主導で町民に説明責任を果たすことなく幼保連携認定こども園に早急に移行する必要があったのか。 多額の予算を計上してまで、なぜ、町主導で町民から現状での利用の意向を調査することなく釧路保育所を早急に解体決定する必要があったのか。 町民の大切な予算に納得できる説明がなされていない。	
昨年度より産業厚生常任委員会で調査研究をし、提言をした商業分野における地域おこし協力隊募集事業に取り組まれることを高く評価する。 農業分野のみならず、商業分野でも活気ある町づくりのためにスタートすることを大いに期待して賛成する。	羽根田ひとみ議員		齋藤 松夫議員	補正予算への町保育所解体予算計上の1点を理由に反対である。令和3年に町総合計画等が定める保育所等の町営方針を無視し、民営化政策を強行したことがその端緒であれば、町保育所解体予算計上はその仕上げというべきものである。この一連の事業の問題点を追及してきたものとして、反対の態度をとることは当然のことである。	
			川名 静子議員	昨年12月定例会に保育所の廃止条例、解体工事の設計委託料550万円に反対してきた。施設の再利用等の議論も全くされることなく解体を即決したことに疑問が残る。また園舎の近くまで送迎車が入ることによって供たちの安全性が確保されているとは思えない。町立釧路保育所解体工事の一点に関して反対する。	
先の国民健康保険条例改正に関し賛成したことから討論内容は同じだ。条例改正は低所得者の金額を最低限に抑えた配慮がなされ、これに関連した補正と捉え賛成する。	川名 静子議員	第4 0号 国保 補正	川村 滋道議員	県内の保険料統一の基金積立に1千万円を県に納付の為国保財政は一層厳しさが増している。又町民を取り巻く厳しい環境を考慮し、前年度繰越金3,800万円を繰り入れる事で均等割り、平等割の最低限の引き上げにとどめる努力は評価するが値上りする事、未就学児の均等割りの負担ゼロも実現されていない事から反対する。	
2021年1月批准国50を超え国際法として成立した「国際的規範として核兵器使用を阻止し核保有国の手をしるる」大きな役割を発揮する条約で日々署名や批准が広がっている。署名94ヶ国、批准73ヶ国地域（昨年9月時点）で全国の自治体も同様の動きがある。本町でも非核の平和宣言を行っている事から本意見書に賛成する。	川村 滋道議員	発議 第1号	岡本 貴士議員	日本は米国の「核の傘」に依存しており、条約への参加は現行の安全保障体制を揺るがす。また、条約に核保有国や米国が参加していない中で、日本一国のみの踏み込みは現実的でなく、外交的孤立を招きかねない。外交は町議会の判断領域を超えており、本意見書には反対する。	
			半澤 高議員	日本は米国の核の傘に守られており、本条約を批准することは現政権においては矛盾そのものである。また、意見書の提出先も考えものである。国会（衆議院）において少数と党である現在、野党が協力して進めるやり方もあるのではないか。	
			半沢 正保議員	この意見書は、平成30年6月定例会において採択となり桑折町議会として意見書を送付している。さらには、原水協HPに、議決した自治体議会として、桑折町議会がリストアップされている。このことから、改めて意見書を提出する必要がないと判断し本件は不採択とし、原案に反対するものである。	
地方自治では議会は一院制で住民がチェックできる。だからリコール制度をはじめ多様な直接民主制が導入されている。行財政全般について執行機関の初心や疑義をいつでも糺すことが出来ないと、その職務を十分果たす事が出来ない事から、議員固有の権能として与えられているものであり議員の責務である事から賛成する。	川村 滋道議員	発議 第2号	岡本 貴士議員	議員の質問権は確かに重要であるが、それは議会全体の合意形成や決定を前提としたものである。過去の議会の決定を何度も蒸し返して否定するような質問を許容すれば、政策の安定的な執行を妨げる可能性があり、議会の権威や町民の信頼にも関わる。総務課見解及び町長答弁の撤回は不要であることから、本決議に反対する。	
			羽根田ひとみ議員	同じ内容での質問を繰り返すのは会議進行上の妨げとなるのではないか。スムーズな進行を望むうえで、総務課よりの申し出であったと思う。新たな事実、発展性がある内容が無い限り必要ない。	
			佐藤 武朗議員	私は、二元代表制について、提出者とは根本的な見解の相違で反対する。	
			石幡 政子議員	この議案については、議会運営委員会において慎重に論議し、「議決事項であっても質問する事は可能である」との結論を得、その後全員協議会で示した。それを不服とし追加議案として上程する事は、議連の審議結果を軽視することであり、議連そのものの軽視と受け取らざるを得ない。以上のことから反対の立場をとる。	

令和7年第2回桑折町議会臨時会 ○全会一致で可決の議案

議 案 名		討論者	議 案 名		討論者
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて		議案第28号	財産の取得について	
議案第27号	福島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福島県市町村総合事務組合規約の一部を変更する規約について				

令和7年第3回桑折町議会定例会

	川村滋道	齋藤松夫	半沢正保	羽根田ひとみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	佐藤武朗	斉藤 謙	半澤 高	川名静子	原 賢志
一般質問者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

○賛否の分かれた議案

		○：賛成 ●：反対 欠：欠席 ■：討論者												議員名	議 可
議案名		川村滋道	齋藤松夫	半沢正保	羽根田ひとみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	佐藤武朗	斉藤 謙	半澤 高	川名静子	議長		否
議案第33号	桑折町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	—		可決
議案第35号	桑折町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—		可決
議案第39号	令和7年度桑折町一般会計補正予算（第1号）	●	●	○	■	○	○	●	○	●	○	●	—		可決
議案第40号	令和7年度桑折町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—		可決
発議第1号	核兵器禁止条約に対する日本政府の署名と批准を求める意見書（案）	○	○	●	●	●	●	●	●	○	●	●	—		否決
発議第2号	議員の質問権剥奪につながる「既議決事項否定の質問等はふさわしくない」とする総務課見解及び町長答弁の撤回を求める決議（案）	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—		否決

一目でわかる 審 議 結 果



結果報告はこちら

○全会一致で可決の議案

議 案 名		討論者	議 案 名		討論者
議案第29号	地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例		報告第3号	町が出資金を出資している法人の経営状況等を説明する資料の提出について（令和6年度福島地方土地開発公社桑折町事務所事業報告等）	
議案第30号	桑折町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例		同意第1号	桑折町固定資産評価審査委員会委員の選任について	
議案第31号	桑折町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例		議案第41号	財産の取得について	
議案第32号	桑折町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		議案第42号	令和7年度桑折町一般会計補正予算（第2号）	
議案第34号	東日本大震災による被災者に対する町民税、固定資産税及び国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例		発委第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書（案）	
議案第36号	桑折町水道事業の業務に従事する職員の給与等の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例		発委第2号	「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書（案）	
議案第37号	桑折町道路路線の廃止について		所管事務調査報告について		
議案第38号	桑折町道路路線の認定について		桑折町議会議員の派遣について		
報告第1号	令和6年度桑折町繰越明許費繰越計算書について		閉会中の継続審査の申し出について		
報告第2号	町が出資金を出資している法人の経営状況等を説明する資料の提出について（令和6年度一般財団法人桑折町振興公社事業報告等）		閉会中の所管及び所掌事務調査の申し出について		

※報告は採決なし



さいとう 齊藤 謙 議員

質問 改善されない経常収支比率高止まり

答弁 分子と分母の関係、健全財政堅持

令和4年度決算カードの一部

令和4年度決算カードの一部

問

経常収支比率の4年度は89・6%前年比0・7ポイントアップし、限りなく100%へ近づいていることは、今後は大型新規事業計画には慎重に検討しなければならぬ。財務指標をどのように捉えていくか、臨時一般財源が毎年増加していることは、借金が増加傾向にあること。実質経常収支比率は年3%〜5%以内とすべきであり、数値目標を掲げた改善取組をすべきである。私は、財政が健全とは、決して思っていない。公会計では毎年コンサルに高い料金で委

答

託しているが、コンサルの分析結果も毎年同じような内容で指摘されている。また、これらに関する検討会議も開催されず、そのままとなっていることは、今後の課題である。 経常収支比率は分子と分母の関係であり、本町は健全財政を堅持している。各種指標については、引き続き「財源確保」と「行政経費の節減化」「事務事業の選択と集中」など効率的かつ効果的な事務事業の推進を図り、改善に努めていく。

質問

総生産実数で隣町国見町より少ない

答弁

総生産では、本町は多くなっている

問

ある報道では町は高い数値を示しているが、何故か隣町国見町より、一次産業である農業総生産実数が少ないことは、どのようなことか。

答

町長 県が統計指標等を用いて推計したもので、本町の第一次産業は1・5%、第二次産業13・8%、第三次産業0・0%となっている。

これも質問

問

町民との約束を実施すること

答

不用額は歳出予算の経費を使用しなかった

問

全国的にも貴重な遺跡群の調査研究を受け継いできたものを次世代に残す

一般質問 という名の 政策提案



6月定例会は議員11名が登壇

※青字は、質問の概要を掲載しています。

※各問答は、質問者の責任で作成した原文を掲載しています。問い合わせは、各議員にお願いします。

Table with 2 columns: 登壇議員, 質問事項

一般質問とは、議会で議員が行政（町長や役場など）に対して、町民の関心事や問題点について質問し、その答えを求める制度です。これにより、行政の運営状況を確認し、政策の改善や問題の解決を図ることを目的としています。

町民の思いや願いを届ける 65分



おかもと たかし
岡本 貴士 議員

質問 「こおり宿楽市・楽座」の目的は

答弁 「桑折プライド」を次世代に紡ぐ



楽市イベントの企画に参加する学生の様子

問 町長として、今回のイベントに込めた「想い」や「背景」を伺う。

答 町長 町制施行70周年の記念すべき節目にあたり、先人たちの営みに思いを馳せることはもとより、新しい時代を築こうと気概を持って創造してきた歴史や文化的資源を町民の矜持とし、いわゆる「桑折プライド」を次の世代に紡いでいくため開催するものである。

問 今後、このような広域的な連携イベントを継続的に開催する構想はあるものか伺う。また、構想がある場合、現段階での考えを伺う。

答 町長 70周年の記念事業と捉えていることから、山車の運行は今年度限りとするものの、広域的な物販・交流イベントについては、次年度以降も継続してまいりたいと考えている。



はんざわ まさひろ
半沢 正保 議員

質問 小中学校の通学路等の安全確保を

答弁 計画的に点検を実施していく



安全に通行できる歩道の確保

問 5月に文科省が教育委員会安全担当者を集め緊急会議を開催した。本町では、平成24年に「桑折町通学路交通安全プログラム」を制定し年1回の合同安全点検を実施するとなっている現状を伺う。また、学校等の町内防犯カメラの設置状況と今後安全確保のために防犯カメラ設置を推進するのかわかる。

答 教育長 予期せぬ事件事故に巻き込まれる事案が全国的に発生していることから、児童生徒への指導を徹底するとともに、警察や地域住民との連携を強化していく。合同安全点検は昨年度は実施していない。今年度は実施する。防犯カメラの台数は把握していない。設置推進については、今後検討していく。

質問 桑折愛・歴史を守る取組みを伺う

答弁 歴史的遺産を活用した事業を実施



種徳美術館の跡地活用にも注目したい

問 桑折町歴史的風致維持向上計画は、平成28年から令和7年までの10年間にわたる計画であった。本年は計画最終年である。具体的にどのような維持・向上の取り組みが進められてきたのか、本計画の評価を伺う。

答 教育長 本計画については、ハード・ソフトと両面で一定の成果を上げており、「先人から受け継いできた桑折町の『良さ』・『らしさ』を再認識し、次世代に残す」という所期の目的を達成していると考えている。今後においては、本計画の目的や趣旨を尊重し、今日まで町民において醸成された歴史まちづくりに対する気運や事業成果を踏まえ、引き続き、歴史的風致の維持向上を図っていく考えである。

質問 「地域の守り手育成型方式」入札制度を

答弁 今年度より地域貢献度等主観点を導入

問 県は、「地元企業の多くは、地域社会を担う中小企業・小規模企業であるとともに、地域のインフラ整備をはじめ、災害対応や除雪・維持補修など、安全・安心の確保を担う、地域の守り手」である。過度の競争や急激な少子高齢化により、将来的に地域の安全・安心の確保に支障をきたす恐れがある。県が発注する建設工事において、地域の守り手、企業の健全経営の継続や振興を図り、今後も継続的に地域の安全・安心の確保を担えるようにすることを目的として、「地域



三角地区水道管布設予定現場

答 町長 入札については、透明性をもとより、公正・公平を確保したうえで、価格競争により業者を決定することであり、本町においては、今年度より、地域貢献度等の主観点を試行導入した。

これも質問

問 歴史的風致維持向上計画の継続を所期目的達成のため更新はしない



かわ な しず こ
川名 静子 議員

質問 柔軟な教育課程の導入はあるか

答弁 効果的と判断すれば導入もありだ

答 教育長

教育課程について目的や内容により、単位授業の時間増減や標準授業時数の削減など、柔軟に編成すること

問 改定の目玉とされる「柔軟な教育課程」の中には授業時間の削減、標準授業時数の削減案だ。導入は可能か。

答 教育長

初等中等教育における教育課程の基準等のあり方について中央教育審議会諮問があった。今後、審議、答申、改訂されることから大きく変わる部分について、現時点の答弁は控える。

問 現行と比較して次期改訂で大きく変わる部分、改訂に対する教育長の考えは。

2030年に改訂される学習指導要領を、導入までにどのような準備をする考えか、併せて学校教育全般に關しても伺う。

答 教育長

初等中等教育における教育課程の基準等のあり方について中央教育審議会諮問があった。今後、審議、答申、改訂されることから大きく変わる部分について、現時点の答弁は控える。

問 改定の目玉とされる「柔軟な教育課程」の中には授業時間の削減、標準授業時数の削減案だ。導入は可能か。



よく学び・よく遊べ 可能性を秘めた子供たち

答 教育長

部活動指導員や外部指導者の募集、人材バンクの作成を行っている。条件が整い次第配置していく。

問 中学校部活の地域移行の進捗は。

答 教育長

支障がある枝の伐採等を行い適正に管理している。

問 学校敷地内の樹木の管理、特に釀芳小の巨木は地域住民を不安にさせている、対応は。

答 教育長

支障がある枝の伐採等を行い適正に管理している。

質問 どうする、地域ニーズへの対応は

答弁 関係者と協力、解決向け取り組む

これも質問

問 答

返礼品。パンフ5月なのに「品切れ中」工夫は価格が上がり返礼率30%を超えてしまった

答 町長

数年利用がない事から従前どおり町が法律的な支援を提供する。

問 成年後見制度の実施は。

答 町長

当面、既存の会議体で対応する。

問 社会的孤立者対策の支援体制の進捗は。

答 町長

当面、既存の会議体で対応する。

問 住居、働く場等を支援することとも再犯防止に繋がるとも「協力雇用主」へ本町の登録件数は。

答 町長

把握していない。



はん ざわ たかし
半澤 高 議員

質問 リチウムイオン電池の分別回収は

答弁 安全な回収方法を速やかに検討

問

リチウムイオン電池は、スマートフォンなど家電製品に幅広く使われているが、強い圧力や衝撃が加わると発熱、発火の恐れがあり全国のごみ焼却施設やごみ収集車の火災事故が相次いでいる。町ではリチウムイオン電池等（ニカド電池、ニッケル水素電池）及びそれらの電池を使用した製品の回収にどのような対策をとっているのか伺う。

答 町長

4月15日付の環境省通知を受け、分別に係る周知強化はもとより、町の責任における安全な回収方法について速やかに検討したい。



リチウム電池



ニカド電池



ニッケル水素電池

充電式の製品には上記の電池等が使われています。捨てる際には他のごみと混ぜないで分別回収にご協力ください。

質問 ふくしまDCへの取り組みは

答弁 桑折ならではの企画を検討する

問

ふくしまデザインセンター（以下ふくしまDC）は、「しあわせの風ふくしま」と題して来年4月から6月までの間に実施されるJRRグループと連携したキャンペーンであるが、町ではふくしまDCにどのように取り組む計画か伺う。

答 町長

先月郡山市で開催された全国宣伝販売促進会議に出席するとともに大手旅行会社の担当者や「レガールこおり」に招いてプレゼンするなど県を挙げた準備推進体制に積極的に参画している。ふくしまDC本番の来年には、期間中見頃となる桃の花や半田山自然公園、ホテルなど桑折ならではの観光資源を活用した連携企画を検討していきたい。

これも質問

問 答

桑折町を騙るショッピングサイト対応は一般の方から通報、警察等に相談し注意喚起各学校での不審者対策は「不審者対応マニュアル」に基づき対応



鈴木 隆志 議員

質問 避難用物資の確保・備蓄状況は

答弁 確保・管理ガイドラインにて確保

- 問** 桑折町防災倉庫、備えあれば患いなし
- 答** 町長 アルファ米3, 350食中2, 500食, お粥400食中250食アレルギーフリー備蓄、今後、全量
- 問** 町長 現在99台備蓄しているが、9月末までさらに443台追加配置していく。
- 答** 町長 簡易テント352張備蓄、追加配置なし。
- 問** 町長 ダンボールベツトは。
- 答** 町長 現在39其備蓄しているが、9月末までさらに6其追加配置していく。
- 問** 町長 設置型トイレは。
- 答** 町長 現在39其備蓄しているが、9月末までさらに6其追加配置していく。
- 問** 町長 避難所運営に関する指針の改定による、避難生活環境改善に向けての物資の整備状況について。
- 答** 町長 設置型トイレは。
- 問** 町長 災害時における物資供給の協力に関する協定は。
- 答** 町長 有事において、町からの要請に対し優先的に物資の供給していただくことで協定締結している。



桑折町防災倉庫、備えあれば患いなし



川村 滋道 議員

質問 パートナシップ制度導入は

答弁 本年7月1日から施行したい

【受理証明書イメージ】 (表面)

この証明書は、届出をしたお二人が互いを人生のパートナーとして認め合い、日常の生活において相互に協力しながら、継続的に生活をするために必要な事項を届け出たことを、福島県が受理したことを証明するものです。

法的な効力を有するものではありませんが、提示を受けられた方は、上記諸般を御理解くださいますようお願いいたします。また、この証明書をお持ちの方が本制度を利用していること等については、本人の同意なく口外しないようお願いいたします。

お問合せ先：福島県生活福祉課 電話：024-521-7188

(裏面)

福島県パートナーシップ届出書受理証明書

福島県パートナーシップ市役所実施要綱の規定に基づき、届出を受理したことを証明します。

【本人】 氏名：() 年 月 日生 届出日： 年 月 日 交付番号： 第 号 証明日： 年 月 日 福島県知事 印

【パートナー】 氏名：() 年 月 日生

【特記事項】

○緊急連絡先【この欄の記載は自由です。】

※急病や怪我等で緊急の連絡が必要な場合は、パートナーへ連絡してください。また、パートナーとの面会を希望します。

○生計を一にする子、親等の近親者の氏名

氏名：() 年 月 日生 氏名：() 年 月 日生 氏名：() 年 月 日生 氏名：() 年 月 日生

○通称名を使用している場合の戸籍上の氏名

【本人】 氏名：() 年 月 日生 【パートナー】 氏名：() 年 月 日生

※ 受理証明書は2枚お渡します。届出者お一人につき、1枚ずつ 県のパートナーシップ届出書受理証明書

- 問** 昨年3月議会から繰り返し制度導入を求めてきたが導入準備はどうか。
- 答** 町長 県が発行する「パートナーシップ届出書受理証明書」を活用する事とし、他市町村の事例の収集や提供できる行政サービスの洗い出しを行ってきて今般町営住宅の入居申し込みや介護保険に係る各種申請など19項目を取りまとめた事から懇談会の意見も踏まえ来月1日から制度運用を開始する。
- 問** 町レベルでは富岡町に次いで2番目の導入だ。ぜひこの先進的な内容を関係者の方々には多に活用頂きたい。
- 答** 町長 当事者の方々には活用願いたい。

質問 口座振替制度加入促進に向けて

答弁 役場窓口において勧奨していく

- 問** 口座振替制度加入促進について。
- 答** 町長 口座振替制度加入率が減少している要因は。
- 問** 町長 コンビニ納付やQRコード納付などの多様化に伴い、相対的に減少している。
- 問** 町長 自治体向けWeb口座振替受付サービス導入は。
- 答** 町長 口座振替制度加入時、窓口に向くことなく、インターネットで24時間受付可能であることから、次年度導入に向け検討中である。
- 問** 町長 口座振替割引制度周知は。
- 答** 町長 国民年金保険料早割制度について国民年金加入者あて通知書送付している。
- 問** 町長 引き続き、広報こおり等での周知、窓口における勧奨を行っている。
- 問** 町長 口座振替制度の導入で事務効率化は。
- 答** 町長 平成6年度からの導入で事務効率化につながっている。
- 問** 町長 口座振替制度の導入促進に向けての対応は。
- 答** 町長 引き続き、広報こおり等での周知、窓口における勧奨を行っている。

質問 防衛白書の学校配布について

答弁 学校教育には使用しない

- 問** 県内小中学校に防衛省から直接「日本の防衛」はという冊子が配布された。この内容は戦争を起さなため抑止力として軍備増強の理解を求め中国・北朝鮮・ロシアを名指しで仮想敵国化し危険をあり反撃能力を強調し、日米軍事同盟や防衛費の必要性を強調している。国民の中の様々な考え方や感情がある中で、子供の発達段階を考慮せず政府の考えを一方的に押し付ける内容です。教育基本法の「政治的中立」や憲法9条
- 答** 教育長 学校教育では使用しない。又アンケートには答えない。
- 問** 県内小中学校を教える前に自衛隊を学ばせる事は小学校の発達段階に配慮し教える冊子としてふさわしくない内容でありまた文科省の検定を受けていない事から学校教育で使用しない事と、校長に対するアンケートには答えないように如何か。

これも質問

- 問** いちい自習室の事業者における管理状況は
- 答** 定期的な見回り等実施適切に管理されている
- 問** 公用車のNHK未払い受信料の清算は
- 答** 未払い受信料積算し本補正予算に計上した

これも質問

- 問** 本庁の介護施設の援助について
- 答** 定額減税補足給付事業で支援する
- 問** 既議決事項質問抑制は三元制度否定だ
- 答** 議員必携を踏まえたものと認識している
- 問** 非正規の町職員身内雇用は避けるべき
- 答** 透明性公平性を旨として考慮したい



はねだ 羽根田 ひとみ 議員

質問 半田山山開きをより良い企画に

答弁 長時間滞在の企画をする

今後は情報発信の強化と長期滞在を促すイベントを企画する。

また、シラネアオイなどの山野草やハートレイク半田山が好評であった。今後、情報発信の強化と長期滞在を促すイベントを企画する。



山開き開会式

問 開催した山開きは好評だった。今回の参加人数・企画内容・参加者からのアンケート結果をうけて今後の課題は何か伺う。

答 町長 シラネアオイの最盛期に変更したことで、昨年より1.5倍の600人の参加者だった。日本赤十字奉仕団及び住民自治協議会による炊き出し訓練を兼ねた豚汁振る舞いや、うぶかの郷無料入浴券の配布などが好評だった。

問 フォトスポットの表示を分かりやすくすべきと思う。また歴史案内の方々に協力いただいて、半田銀山の案内をしてはどうか。

答 町長 次回はそういったことも工夫する。また山開きにとどまらず、福島県森林協会等と連携し、4万人の交流・関係人口創出につなげる。



さいとう まつお 齋藤 松夫 議員

質問 半田沼分水地点下流の安全対策を

答弁 現場をみて検討してみたい



平成27年9月大雨による越水土砂崩壊現場「9/8大雨による宮沢地区災害状況」より

問 下記理由から、半田沼下の分水地点から南半田方面の通行止め区間の豪雨時安全対策を求める。①水路と道路が未整備だ。安全対策確立の陳情書も出ている。②平成27年9月のような災害（宮沢地区農業施設災害）発生を未然に防止するため。

答 町長 現場を見て検討してみたい。

③当該場所の上部に7,000㎡の造成地（多目的広場）があり、豪雨時に災害発生の要因となる恐れがある。

質問 議決事項否定質問するなは暴論だ

答弁 「統一した意思」に従った質問を

問 町当局は一年12月定例会以降6回にわたり、既議決事項は「議会全体の統一した意思（議員必携）」でありこれを否定する質問等は「他の議員の意思を否定することになるのでふさわしくない」旨の見解を議会側に向け発してきた。これは議会論戦の否定であり、議員必携の曲解だ。議員必携は、議員の質問の範囲について、「その町村の行財政全般」とし、効果については「所信を質すこと」によって、執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせ「結果として「現行の政策を変更、是正

答 町長 議決案件は、議決によって議会全体の統一した意思として決定されるものだ。よって反対の立場であったとしても、議会の意思に従わなければならないものだ。質問は、決定した議会の意思に沿ってなされるべきである。

これも質問

問 学校統合問題で町民説明会をやるべきだ

答 アンケート後は現時点で考えていない

問 「不満あれば別の職場へ答弁」は憲法否定だ

答 事実と反する質問への答弁だ

質問 楽天イーグルスイベントは来年も

答弁 開催に向け、前向きに検討



ホタピー大活躍

問 楽天イーグルス冠協賛イベントは今年で終わると言われてたが、好評だったため次年度もという声が多くある。次年度は開催するのか、開催するのであれば野球部の生徒を始球式でグラウンドに立たせてあげてはどうか。

答 町長 町公式LINEの県外登録者数や両農協直売所に仙台圏域からの来訪者が増加していることから前向きに検討する。生徒をグラウンドに立たせることは、楽天イーグルス側が受け入れていない。

これも質問

問 町のイメージソングコンテスト町の協力は

答 実施団体の事業実施概要を確認後検討

問 小・中学校のあり方、結論はいつまでに

答 10月に提言を受けて町の方針を決定する

問 こども園の運営はスムーズにいつているか

答 保護者から好評である



いし はた まさ こ
石幡 政子 議員

質問 子育て環境での妊産婦への支援は

答弁 安心して子育てができる支援を

問 後の育
児休暇の取得
状況について
どのように分
析しているか
伺う。

答 町長
育児
休業について
は、昨年2月



イクメンパパ応援

答 町長
今年4月1日
以降に母子手帳の交付
を受けた方を対象とし
ており、5月
末時点で全員
より申請をい
ただいている。

問 出産
産婦対象の「妊婦・出
産ママ交通費助成事
業」について現状を伺
う。

答 町長
本町では「第3期桑
折町子ども・子育て支
援事業計画」を策定
し、妊娠期から子育て
期にわたる切れ目のな
い支援事業に取り組ん
でいる。そこで次の二
点について伺う。

に実施した「子ども・
子育て支援に関する
ニーズ調査」によれば、
就学前児童の保護者の
取得状況は、「取得し
た（取得中）」の割合
が父親、母親ともに前
回調査より10%以上増
加していることから、
制度の浸透は図られて
きていると捉えている。



さ どう たけ ろう
佐藤 武朗 議員

質問 高齢化が進む今後の維持管理は

答弁 2年内には設置替え含め計画策定



この柵の維持管理が大きな課題

問 現在「有害
鳥獣侵入防止
柵」の現状と課題は。

答 町長
関係町内会の
方々に、柵の修繕や草
刈りを行っていただい
ているが、高齢化や人
数の減少により、維持
管理作業の取り組みが
難しくなっている。

問 「有害鳥獣侵
入防止柵」の維
持管理についての評価
と確認方法は。

答 町長
町内会からの

報告により作業実施状
況を把握しており、適
正に対応していただい
ている。

問 「有害鳥獣侵
入防止柵」を含
めた将来の対策は。

答 町長
農地利用状況
に合わせて設置し直す
ことで、地元の負担軽
減に貢献する。現在は
段階的に事業者への委
託区間を増やしていま
すが、将来的には全て
事業者への委託を目指
し、1〜2年以内に計
画を策定する。

これも質問

問
答

歴史的遺産の保存・継承は
未指定文化財町指定等で保存継承に努める

質問 健康づくりと薬の服用について

答弁 正しい服薬指導啓発に努める



お薬手帳で服薬管理をしっかりと

問 本町は「こ
り健康楽会」を
中心に健康づくり推進
に向け数々の事業を展
開している。町民に対
し運動、栄養に関する
指導は十分に周知でき
ていると思う。一方
で、正しい薬の服用に
ついて普及啓発等はど
のように実施している
のか伺う。

答 町長
服薬について
は、薬剤師による講演
会の開催や保健指導時
における服薬管理を実
施してきた。今年度は
更に高齢者の通いの場
や団体等に専門職を派
遣し、正しい服薬の仕
方について普及啓発を
実施する。

質問 町の課題解決に協力隊の導入を

答弁 まちづくりネットと連携し導入

問 人口減少社会
への対応とし
て、都市的機能の集約
により利便性の向上を
図られてきているが、
人口減少の流れは避け
られない。社会増をい
かに図るかがこれから
の課題である。そこで
各分野の専門的知見を
有するメンバーで構成
されている「桑折まち
づくりネット」を受け
皿として、行政と一体
となって「空き家」「空
き店舗」「後継者」「移
住定住」等の幅広い活
動を担える「地域おこ
し協力隊事業」を提言
するが所見は。

答 町長
「地域おこし
協力隊」については、
「桑折まちづくりネッ
ト」等と連携し、空き
家、空き地を活用した
移住・定住対策に取り
組んでもらうべく、成
功事例を調査・研究し、
速やかに募集する。

これも質問

問
答

大かや園の現状と活用に向けた方向性は
一定の制限はあるが大規模改修も視野に検討

一部事務組合議会報告

一部事務組合への令和7年度負担金予算額と前年度対比表

(単位：千円)
小数第2位四捨五入

区 分	内 訳	R 7年度予算額	R 6年度予算額	増減額	増減率
伊達地方衛生処理組合	一般会計	58,500	55,800	2,700	5
	し尿処理	240,300	226,000	14,300	6
	ごみ処理	752,100	755,000	▲2,900	▲0
	計	1,050,900	1,036,800	14,100	1
公立藤田病院組合	特別交付税	29,684	28,737	947	3
	一般会計	30,000	30,000	0	0
	計	59,684	58,737	947	2
伊達地方消防組合	一般会計	2,420,100	2,052,200	367,900	18
合 計		3,530,684	3,147,737	382,947	12

一部事務組合とは 複数の市町村が、その事務の一部を共同で処理するために設置する特別地方公共団体のことです。

伊達地方衛生処理組合

選出議員：半澤 高・石幡政子

令和7年3月27日開催の定例会では、条例制定1件、条例改正1件、各会計の補正予算3件、令和7年度各会計当初予算3件が提出されそれぞれ全会一致で可決した。また、5月12日開催議会臨時会では専決処分の報告1件を全会一致で承認した。6月4日に開催された議会臨時会では工事請負の締結について全会一致で可決した。

公立藤田病院組合議会

選出議員：斉藤 謙・鈴木隆志・齋藤松夫

条例一部改正4件、補正予算、7年度会計予算を審議

6年度は診療報酬マイナス改定、給与改定や働き方改革による給与費増材料費価格高騰、予定患者と予定単価に届かなかった等により、約10億4千万円の損失見込みとなる。病院経営状況調査では、前年度赤字病院の割合が50%から6年度は61%に増加していた。7年度は診療改正がないため、藤田病院も大変厳しい経営状況になることが予想される。

6年11月より入院患者の増加傾向にあり、さらなる新規入院患者の確保、診療単価のアップを目指し職員一同一丸となり、取組んでいく。

伊達地方消防組合

選出議員：川名静子・佐藤武朗

3月26日の定例会で、7年度一般会計、6年度補正予算、条例制定、議員提出議案の条例改正を全会一致で可決。7年度の主な歳出事業は、消防本部車庫改修に1,474万円、消防救急デジタル無線機能強化に7億5,657万円、中央消防署北分署救急車更新に3,025万円など、総額24億2,010万円。

福島地方水道用水供給企業団

選出議員：原 賢志

2月26日令和7年2月定例会が開催され、補正予算、当初予算、条例改正1件が提出され、原案のとおり可決された。

◆業務予定量

令和7年度は、年間総給水量を3,800万7,190立方メートル(同50万9,112立方メートル増)、1日平均給水量10万4,129立方メートル(同1,395立方メートル増)と見込んでいる。

委員会活動報告

総務文教常任委員会

委員長 斉藤 謙

認定こども園の調査報告書を提出

本委員会は6月定例会に同調査結果の報告書を提出いたしました。その主な内容は次の通りです。

1. 本調査は認定こども園開園1年延期問題がある中でスタートしたものです。本委員会は認定こども園の開園に向けての進捗状況について、その都度、教育文化課長から説明を受け、委員間討議を行い、定例会等での質問等にかしました。
2. 伊達市の認定こども園事業視察の必要を認め計画をしました。が、相手方の事情により実現せず、後日、文書による貴重な資料を頂きました。
3. 認定こども園(こおり青空こども園)は令和7年4月より開園しましたが、開園時の入園児数は105名でした。
4. 職員体制に関し、待機児童対策としての職員2名分の人件費予算計上が3月議会で議論となったことについて、開園後、委員会質疑を行い、今後の入園児数の見通し及び補助金交付要綱等について調査を行いました。その時点で、2名の職員は採用済みであることを確認しました。今後は、醸芳幼稚園・こおり青空こども園の連携を図り、桑折っ子(教育大綱でいう)育成のため、乳幼児保育・教育の充実した実施を望むとしました。



委員会調査報告

産業厚生常任委員会

委員長 佐藤 武朗

女性が働きやすいまちづくりに関する調査研究

当委員会は、9月の報告に向けて「女性が働きやすいまちづくり」について調査研究を行っています。これまでの活動として、健康福祉課から子育て支援センターの取り組みについて説明を受け、イコーゼの運営状況を現地視察しました。

今後の予定として、6月中に「こおり青空こども園 子育て支援センター ももも」の視察を行います。このセンターは、4月から町の委託により運営が始まりました。また、7月には「日本一女性が働きやすいまち」を目指す山形県酒田市の視察を予定しています。

広報広聴常任委員会

委員長 半沢 正保

5月9日(金)19:00よりイコーゼ!において第1回議会モニター会議を開催した。議長より委嘱状が10名の議会モニターに手渡され、委員長より年間予定と活動について説明がなされた。(最終ページにモニターの皆様の紹介がありますのでご覧ください。)

5月25日(日)1部13:30 2部16:00よりイコーゼ!において第1回議会報告・意見交換会を開催した。各委員会報告、議員のなり手不足調査特別委員会報告があり、続いて積極的な意見が数多く述べられ充実した町のありべき姿が話し合われた。(詳細につきましては、22・23・24頁をご覧ください。)

議会運営委員会

委員長 半澤 高

現在、調査中の案件は「議会基本条例第20条に基づく検証」であり、昨年3月定例議会において中間報告を行い、改選前の4年間に限って検証を終えたところであるが、議会運営委員会の委員中心による検証であり、全議員による検証が必要ではないかという点および検証の回数が4年に一度でよいものか等々協議してきた。「チェックシート」を活用し、任期2年を終えた中間点での全議員による検証を議会運営委員会でまとめる方式をとってはどうか議論中である。9月定例議会での委員会報告を予定している。



令和7年度 第1回議会 報告・意見交換会のまとめ



日時 令和7年5月25日(日)
● 1部13:30～ ● 2部16:00～

場所 イコーゼ！多目的スタジオ

参加者数・地区別一覧

	桑折	睦合	伊達崎	半田	計
1部	6	6	4	4	20
2部	1	4	2	4	11
計	7	10	6	8	31

① 議長あいさつ

議会報告・意見交換会の開催の趣旨説明
今後の議会日程の案内と傍聴の呼びかけ

② 委員会報告

総務文教

少子化に対応した学校統合の調査
遊び場のスペース確保と保育環境整備への注視

産業厚生

女性が働きやすいまちづくりに関する調査
子育て支援事業の進捗確認と政策提言

広報広聴

議会だよりの発行体制と課題共有
動画配信や迅速な情報発信の検討

議会運営

一般質問のあり方の検証状況
議会基本条例の見直し方針と9月定例会での報告予定

③ 議員のなり手不足調査特別委員会報告

高齢化と無投票選挙の増加に伴う危機感の共有
住民との意識共有と環境整備の必要性
成り手不足の原因分析（やりがい、環境、制度改善）
アンケート実施



④ 第1部 意見交換会での主な内容 13:30

(1) 議長の姿勢と発言に対する住民の疑問と批判

議長が議員のとき、一般質問回数や行政への追及姿勢に対する町民の不満



(2) 非正規雇用に関する町長発言への問題提起と議員の見解

協議の必要性に対する議員の賛否と判断理由の説明

前後の文脈から問題視しないとする議員多数

(3) 認定こども園に関する環境改善と不安の声

認定こども園の移行後に起きた保育の混乱と子どもの適応課題

保護者視点での「専門性ある保育士の安定雇用」への要望

(4) 西道路延伸とインフラ整備に関する提案

アンケート結果による国土交通省の判断を注



視する姿勢

北進ルート実現による人口増・交通利便性の向上への期待



(5) 地区要望の未解決に関する住民の訴え

町長との直接交渉の経緯と行政対応への不満
自治会としての限界と町議の「汗をかく」行動の必要性の訴え

地区間格差の是正と一極集中是正に対する町民の要望

(6) 小学校統合と人口減少対策に関する提案

小学校の統合検討への不安と住民不在の計画進行への懸念

教育政策と住環境整備を連携したまちづくりの必要性の指摘



(7) 災害対策（避難所環境改善）に関する確認と評価

小中学校体育館へのクーラー設置による熱中症対策の推進

移動式冷房機の効果と迅速な予算対応への評価

※24頁に続きます。



議会活動状況報告（全議員参加のみ）

◀詳しくは、こちらから

令和7年3月20日～令和7年6月17日

月 日	活 動 状 況	内 容	対象者
R 7 . 4 . 3	議会全員協議会	○3月定例会の総括について	全議員
R 7 . 4 . 30	議会全員協議会	○令和7年第2回桑折町議会臨時会の議事日程等について ○提案理由の説明	全議員
R 7 . 4 . 30	令和7年第2回桑折町議会臨時会	○承認1件、一部事務組合同約改正1件、財産の取得1件 審議採決	全議員
R 7 . 5 . 15	議会全員協議会	○議会運営委員会委員長からの報告	全議員
R 7 . 5 . 15	政務調査会総会	○令和6年度事業報告について ○令和7年度事業計画（案）について	全議員
R 7 . 5 . 25	議会報告・意見交換会	○議会活動報告 ○議員のなり手不足調査特別委員会報告 ○意見交換	全議員
R 7 . 6 . 11	議会全員協議会	○令和7年第3回桑折町議会定例会の議事日程等について ○提案内容の説明	全議員
R 7 . 6 . 11	令和7年第3回桑折町議会定例会	○会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告・行政 報告、町長提案理由の説明、補正予算説明、継続審査報 告、請願書趣旨説明	全議員
R 7 . 6 . 12	議会全員協議会	○令和7年第3回桑折町議会定例会の議事日程等について	全議員
R 7 . 6 . 12	令和7年第3回桑折町議会定例会	○一般質問（5名）	全議員
R 7 . 6 . 13	議会全員協議会	○令和7年第3回桑折町議会定例会の議事日程等について	全議員
R 7 . 6 . 13	令和7年第3回桑折町議会定例会	○一般質問（5名）	全議員
R 7 . 6 . 16	議会全員協議会	○令和7年第3回桑折町議会定例会の議事日程等について	全議員
R 7 . 6 . 16	令和7年第3回桑折町議会定例会	○一般質問（1名）	全議員
R 7 . 6 . 17	議会全員協議会	○令和7年第3回桑折町議会定例会の議事日程等について ○追加議事日程について	全議員
R 7 . 6 . 17	令和7年第3回桑折町議会定例会	○条例改正8件・補正予算2件・その他2件審議採決、繰 越計算書報告、町出資法人の経営状況報告2件、同意1 件審議採決、追加議案審議採決	全議員



⑤ 第2部
意見交換会での主な内容 16：00

- (1) 時間制議員の導入提案
子育て世代や学生の政治参加促進に向けた提案
若者議会・成り手バンク等の先進事例への言及
- (2) 公民館管理委託費用と運営方法に関する議論
ボランティア扱いと実態運用の矛盾への指摘
予算処理と人件費の明確化に対する要望
- (3) 伊達崎橋梁整備に関する進捗確認
伊達崎橋周辺道路の拡張と住民説明の時期確認
橋の歩道設置や拡幅工事の計画状況の説明要望
- (4) 議員と町民の距離感に関する提案
少人数参加の背景にある「議会への無関心」



- への懸念
議員による地域訪問や小規模報告会の実施提案
日常的な交流機会の増加による関係強化の提案
- (5) 学校統合・通学バス問題に対する危機感表明
人数減少による早期統合の必要性の訴え
義務教育学校やスクールバス運用の検討提案
- (6) 民生委員の担い手不足と地域課題の共有
民生委員や町内会長の成り手不足への深刻な
懸念
担い手不在時の町の対応策への要望
高齢化に伴う担い手問題の広域的対策の必要性
- (7) 議員の地域行事への参加促進の要望
地域イベントに議員の姿が少ないことへの指摘
議員と町民の距離感を縮める参加の重要性

政 務 活 動 費 報 告

令和6年4月1日から令和7年3月31日

No.	議員氏名	交付額	支出内容	備 考
1	川村 滋道	60,000	研修費、資料購入費、事務費	○調査研究費 議員が行う町の事務及び地方行財政に関する調査研究に要する交通費、宿泊費等 ○研修費 団体等が開催する研修会、講演会等への議員の参加に要する会費、交通費、宿泊費等 ○会議費 議員が行う町政に関する住民の要望、意見を聴取するための各種会議に要する会場費、機材借上費、交通費、資料印刷費等 ○資料購入費 議員が行う調査研究のために必要な図書・資料等の購入に要する書籍購入代、新聞雑誌購読料等 ○広報費 議員が行う議会活動及び町政に関する政策等の広報活動に要する広報誌・報告書等印刷費、送料、交通費等 ○事務費 議員が行う調査研究に係る事務遂行に必要な事務用品費、通信費、使用料、賃借料等
2	齋藤 松夫	60,000	研修費、資料購入費、事務費	
3	半沢 正保	60,000	資料購入費、事務費	
4	羽根田ひとみ	14,572	会議費、資料購入費	
5	石幡 政子	53,312	資料購入費、事務費	
6	岡本 貴士	60,000	広報費	
7	鈴木 隆志	60,000	研修費	
8	佐藤 武朗	42,808	調査研究費、資料購入費	
9	斉藤 謙	60,000	研修費、資料購入費、事務費	
10	半澤 高	60,000	研修費、資料購入費	
11	川名 静子	60,000	研修費、資料購入費、事務費	
12	原 賢志	30,072	資料購入費	
合 計		620,764		

令和7年度 議会モニターさんの抱負

令和7年5月9日(金) 19:00より

イコーゼ！ 委嘱状交付

(50音順・敬称略)



伊藤 和磨

3期目となります。今後の議会の在り方を、微力ながら共に考えていきたいと思ひます。



片平 光義

議会モニター新任なので議会だよりを読むだけでなく議会傍聴、議会報告会等にもできるだけ参加していきたい。



加藤 やよい

移住して3年、町の運営に非常に興味がある。



齋藤 忍

国や県ではなく町の議会だから出来る事がある。それが出来ているか、また伝えられているかを見ていきたい。



佐藤 高広

今回初めての参加となりますが、住民目線で議会活動が広く正しく周知される一助になればと思ひます。



中田 巧

昨年度に引き続き応募しました。今年度は議会傍聴含めさらに町政に関心を持って活動していきたいです。



平野 隆幸

自分の住んでいる町に関心・興味を持つ事は大切な事だと気付き、何か協力が出来ればと思ひ参加しました。



松浦 駿

若輩者ですが桑折町を少しでも良くしたいのでよろしくお願い致します。

編集後記

議会だよりの編集は議員控え室で行う。そこには議員の改選期ごとの写真が飾られている。忙中閑あり。そんな心境で見ると感慨深いものがある。議員手づくりの「議会だより」発行は、2回連続無投票後の議会のあり方検討（定数削減か議会改革か）に端緒があった。それは議会改革活性化取り組みへと発展する。その取り組みが「地方議会人」に掲載されたことがご縁となって、全国100町村議会から視察訪問を受けた。刺激的なたくさんの先進事例と出会い交流もした。そうした経験の蓄積が「桑折町議会基本条例」にちりばめられている。「議会だより」も、このような取り組みがあって今がある。

齋藤 松夫

まちの歳時記

連続無投票の結果受け、議会のあり方検討に着手した議員



平成3年9月

26

●広報広聴常任委員会編集委員

委員長 半沢正保 副委員長 石幡政子
委員 齋藤松夫 委員 羽根田ひとみ

こおりまち
議会だより

令和7年7月16日発行
発行 福島県伊達郡桑折町議会
責任者 原 賢志

編集 議会広報広聴常任委員会
電話 024(582)2113
印刷 陽光社印刷株式会社